

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	放課後児童ヘルパーの設置						掲載ページ
							56
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	放課後児童クラブ	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくため、地域と連携を図り、地域の人材を「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支援していきます。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画		夏の教室(地域版)のモデル事業の実施に併せ、放課後児童ヘルパーを活用したモデル事業の取り組みの結果を報告書にまとめ、指導員研修会を通じて全放課後児童クラブに紹介します。このモデル事業の成果を踏まえて、夏の教室(地域版)の実施に併せ、各クラブでの放課後児童ヘルパーの活用を促進していきます。					
活動指標	指標 <small>(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)</small>	前年度実績	目標	実績 (達成率)		【活動の状況】	
	ヘルパー活用クラブの割合	8.2 %	単年度の目標設定はありません	18.7 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	放課後児童クラブの多くは、地域の方々が運営に参画されており、地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくために、「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支援していきます。 (最終目標と最終年度)50%(26年度)					順調	
	(最終目標と最終年度)				やや遅れ	順調	
				遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	モデル事業の取り組みの成果(ヘルパーの活用方法等)を指導員研修会を通じて紹介したことで、ヘルパーを活用するクラブが増えています。地域の人材をヘルパーとして活用することで、農作業、体験活動に取り組むことができるなど、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営に繋がっています。そのため、活動の状況は順調としました。
	「経済性」「効率性」 の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	地域の身近なところで、クラブの活動を支援してくれる人材を確保することができるので、経済性・効率性が高い取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
<p>取り組みにあたっては、夏の教室(地域版)の実施に併せ、放課後児童ヘルパー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進めていきます。必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進していきます。</p>

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	夏の教室(地域版)の実施						掲載ページ		
							56		
コスト	事業費	平成24年度執行額		平成25年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		1,922	千円	2,054	千円	施策名	放課後児童クラブ	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	スポーツ、文化等の指導員の派遣や放課後児童ヘルパー等の地域力の活用などにより、夏季休業日中に小学校で一週間程度実施されている「夏の教室」の地域版を放課後児童クラブで実施し、生活体験や自然体験、スポーツや伝統文化などさまざまな体験をさせるとともに、学習習慣を養います。また、学校との連携により、校内で育てている動植物の世話や観察などを行います。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	23年度にスポーツ等さまざまな体験活動に取り組んだモデル事業の結果を報告書にまとめ、指導員研修会を通じて全放課後児童クラブに紹介します。このモデル事業の成果を踏まえ、放課後児童ヘルパーや放課後ジュニアリーダー等を活用して、各クラブでの夏の教室(地域版)の実施を促進していきます。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】		
	実施クラブの割合	8.2 %	単年度の目標設定はありません	18.7 %	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	放課後児童ヘルパー等の地域力の活用などにより、夏季休業日中の放課後児童クラブの活動内容の充実を図ります。 (最終目標と最終年度)50%(26年度)				大変順調		
					順調		
	(最終目標と最終年度)				やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	モデル事業の取り組みの成果(放課後児童ヘルパー等を活用して普段取り組めないようなさまざまな活動を行うことができたなど)を指導員研修会を通じて紹介したことで、夏の教室(地域版)の実施クラブが増えてきています。普段実施できないような農作業体験活動等に取り組むことができるなど、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営に繋がっています。そのため、活動の状況は順調としました。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	体験活動の実施にあたり、放課後児童ヘルパー等地域の人材を活用するとともに、各クラブで活動内容を企画・実施するので、経済性・効率性の高い取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
取り組みにあたっては、夏の教室(地域版)の実施に併せ、放課後児童ヘルパー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進めていきます。必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成24年度実績評価）

事業名	放課後ジュニアリーダープログラムの展開						掲載ページ
							56
コスト	事業費	平成24年度執行額	平成25年度予算額	政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		0 千円	0 千円	施策名	放課後児童クラブ	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	高学年児童(5-6年生)をジュニアリーダーとし、指導員、放課後児童ヘルパーとともに、低学年児童等のお世話をする事で、高学年児童の思いやりの心や自立心を促していきます。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	夏の教室(地域版)のモデル事業の実施に併せ、高学年児童をジュニアリーダーに位置づけ、体験活動に関わらせるモデル事業の取り組みの結果を指導員研修会を通じて全放課後児童クラブへ紹介します。このモデル事業の成果を踏まえて、夏の教室(地域版)の実施に併せ、各クラブでの放課後ジュニアリーダープログラムの実施を促進していきます。						
活動指標	指標 <small>(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)</small>	前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】		
	実施クラブの割合	8.2 %	単年度の目標設定はありません	18.7 %	大変順調		
	高学年児童の受け入れに伴い、異学年間の交流を活かした活動内容の充実を図ります。 (最終目標と最終年度)50%(26年度)						
					順調		
	(最終目標と最終年度)				遅れ		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】 を踏まえた分析 「経済性」「効率性」 の分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 モデル事業の取り組みの成果(体験活動の中で高学年児童を活用していく手法等)を指導員研修会を通じて紹介したことで、高学年児童をリーダーに位置づけた体験活動を実施するクラブが増えてきています。高学年児童をリーダーに位置づけ活動することで、農作業体験活動に取り組むことができると、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営に繋がっています。そのため、活動の状況は順調としました。 普段、利用しているクラブ(身近な場所)で、思いやりの心等を育む貴重な体験活動(夏の教室(地域版)等での活動)ができることから、効率性の高い取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成25年度以降に実施すること
取り組みにあたっては、夏の教室(地域版)の実施に併せ、放課後ジュニアリーダー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進めていきます。必要に応じて、他クラブの取り組み状況を紹介したり、個別に助言等を行いながら、各クラブの取り組みを促進していきます。